

はじめに

このMAPは
キャンパス内のレーモンド建築を
紹介するものです。

写真は竣工当時のものを
掲載しています。

MAPを片手に
現在の建物を眺め、そして感じ
60年前のレーモンドの思いが
今のキャンパスに息づいているかを
確認していただけましたら幸いです。

アントニン・レーモンド (1888~1976)

ボヘミア地方クラドノ
(現在のチェコ共和国)
生まれ。



1919年近代建築巨匠の一人、
フランク・ロイド・ライトの助手として
帝国ホテル建設のために来日。
その後1973年に85歳で日本を去るまで、第
二次世界大戦前までの18年間と戦後の26年
間のあわせて44年間を日本に滞在し、自然
と風土に根ざした実用的で美しい建物を作
り出した建築家として知られている。

『ことばでめぐるレーモンド建築』はこちら▶



南山大学総合計画



▶ 第1・2期工事(1962-1964)

- 本部棟(管理棟) * ()内は当初の名称
大学会館(食堂棟) (現存せず・跡地にR棟)
- ライネルス中央図書館(図書館)
- 第一研究室棟(研究室棟)
- H棟(南棟)
- G棟(中央棟)
- G30棟(600人棟)
- F棟(北棟)

▶ 第3期工事(1964-1965)

- 神言神学院

▶ 第4期工事(1967-1968)

- 体育館

▶ その他

- 鉄製レリーフ(M棟外壁面)(1972)

南山大学ライネルス中央図書館

<https://office.nanzan-u.ac.jp/library/>

写真提供：南山アーカイブズ

YaMazat60

キャンパス MAP

南山大学

アントニン・レーモンドの
建物探訪

南山大学 キャンパス MAP

—各棟の写真および見どころ—

第一研究室棟 (1964)

POINT! ・コンクリートレリーフ



体育館 (1968)



G30棟 F棟 G棟 H棟 (1964)



POINT! ・フレスコ画
・ノエミのベンチ
・中央廊下 十字の影



図書館 (1964)

POINT!

- ・ルーバー
- ・階段室タイル
- ・菱目型梁



G30棟エントランス (1964)

POINT!

- ・フレスコ画



大学会館 (1964)

2009年に解体され、現存していない。
2011年に跡地にR棟が建設された。



大学会館(現存せず)

神言神学院 (1966)



正門 (1964)



総合受付 (1969)

POINT! ・コンクリート製構内案内図



本部棟 (1964)



M棟(外壁面) (1972)

POINT!

- ・鉄製レリーフ

